

2002年9月24日放送内容

ニュース

スクリーンは模型！？



MOVIE

映像を映すものといえばディスプレイやスクリーンなど様々ですが、こんなところにも映してしまおうという新技術が開発されました。

妙に立体的なコンピュータ・グラフィック。これはいったい...？

こちらの車が走っている映像はプロジェクターによって映し出されているものなのですが、実はこちら、このような模型に映しだされたものなんです。

三菱電機が開発した「シールドランプ」というこの技術。スクリーンの代わりとなる物体の情報をカメラで撮り込み、それに対応した映像を投影することで、スクリーンに映すよりも立体的な映像を見ることができる。コンピュータが投影する物体の形をリアルタイムで認識しているので、物体を動かすと映像も動きに対応する。今のところ製品化は未定だが、この技術を応用して、考えられたのがこれだ。

これはシールドランプを応用して店頭でのディスプレイを想定したものです。センサーを使用することによって、このように商品に触れることでその商品の情報を知ることのできるものです。

「スクリーンに映すよりもより実物に近い映像が見られる。商品のプロモーションやディスプレイ用に製品化を図っていきたい。」(荻野正さん・三菱電機)

来月から展示会などに出展して、需要を見極めていきたいというこの技術。近い将来、プレゼンテーションの常識となるのだろうか。

当ホームページは、報道目的のニュースサイトとして作成されたもので、その内容は当該放送時点のものが掲載されております。当ホームページは、当社及び本件サイトスポンサーに関する情報のほか、証券投資一般等に関する情報提供を目的としたものであり、証券投資につき、勧誘を目的としたものではありません。当ホームページは、当社が信頼性が高いとみなす情報等に基づいて作成しておりますが、その正確さを保証するものではなく、記載された情報により被った損害に関しては責任を負うものではありません。

(c) 1998-2002 Television Tokyo Channel 12, Ltd.

